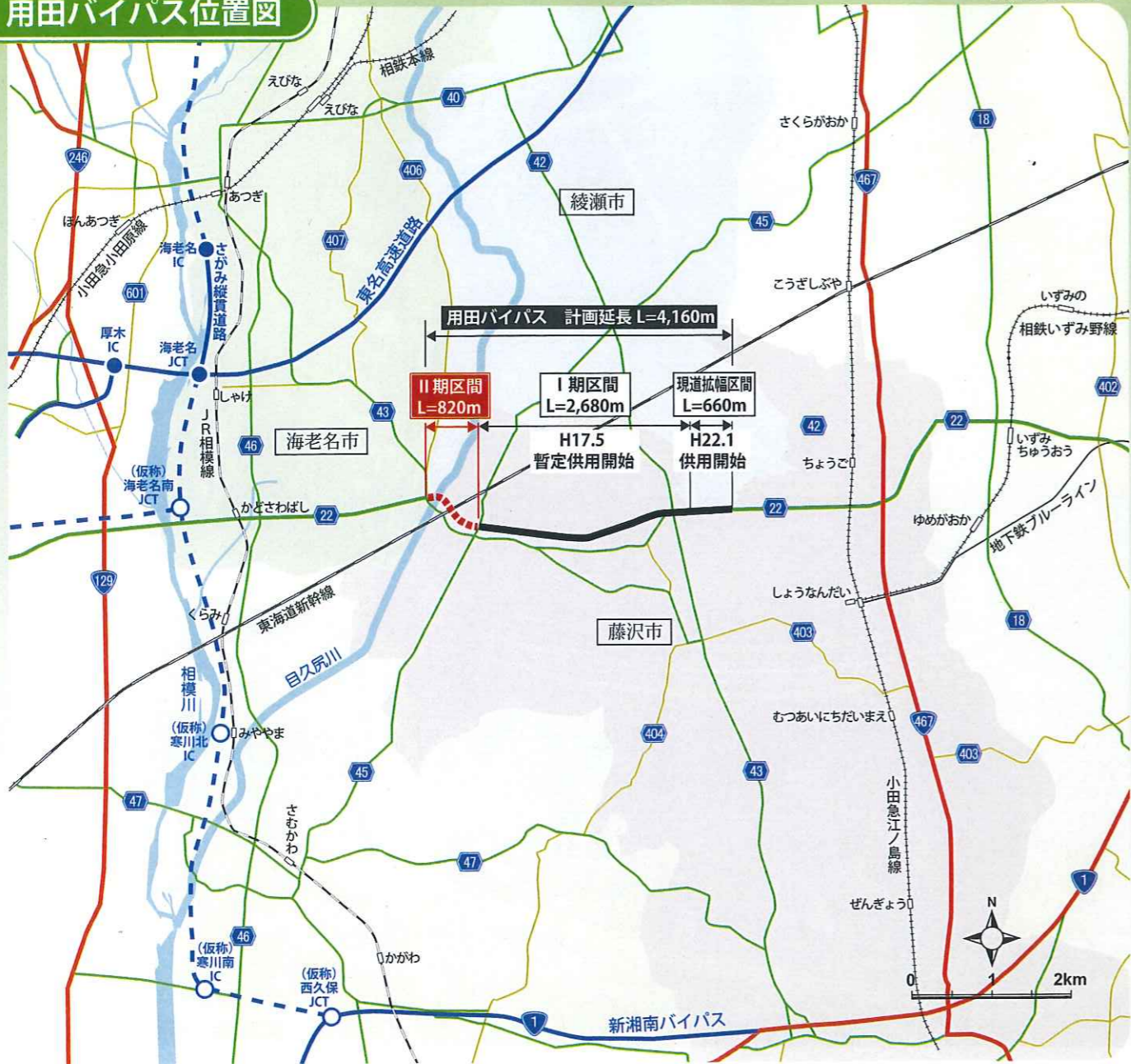


用田バイパス位置図



この地域で出土した埋蔵文化財の紹介 ■ 用田大河内遺跡 ■



◎現地は旧石器時代からの埋蔵文化財包蔵地であり、事業用地内の対象箇所では発掘調査を行なっています。写真のような遺構や遺物をはじめとして多数の出土品が発見されています。



県道22号 (横浜伊勢原)

用田バイパス

Ⅱ期区間

用田バイパスⅡ期区間 県道22号(横浜伊勢原)



事業目的

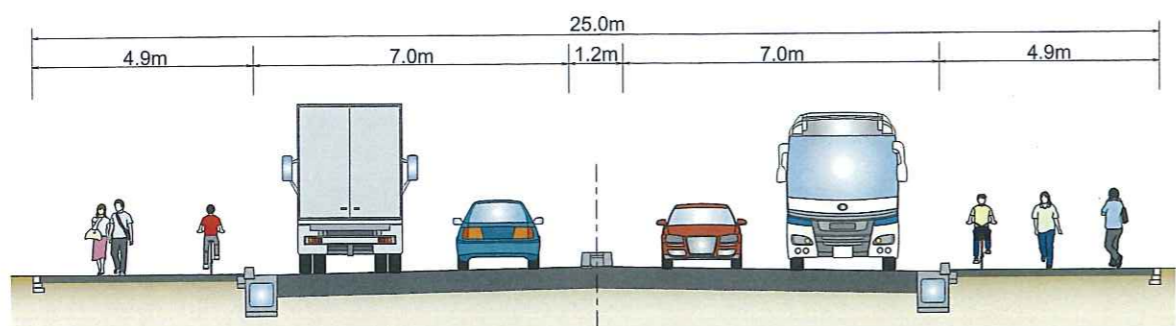
- 県道22号(横浜伊勢原)は、横浜市と県央地域を結ぶ幹線道路です。
- 用田バイパスが整備されると、さがみ縦貫道路等へのアクセスが強化され、広域的な交通の利便性が向上します。
- 通過交通がバイパスに転換することにより現道の交通混雑を緩和します。

路線概要

- 1) 路線名 県道22号(横浜伊勢原)
藤沢市用田～綾瀬市吉岡地内
- 2) 計画延長 L=820m
- 3) 標準幅員 W=25.0m
- 4) 道路規格 第4種第1級(4車線, 両側歩道)
- 5) 設計速度 V=60km/h



標準断面



(仮称)新用田橋

